

## 鹿児島における記録的な大雨 平成 27 年 6 月の記録

### ■ 平年の 3 倍の月降水量 ■

図 1 に鹿児島地方気象台観測開始<sup>注 1)</sup>からの6月の月降水量<sup>1)</sup>と平年値(1981-2010)を示す。

鹿児島地方気象台の先月6月の月降水量は『1300.5mm』を記録し、平年値『452.3mm』の3倍近い記録的な大雨となり、またこれまでの6月の月降水量の最大値『994.5mm(1915年)』の1.3倍近い記録となった。

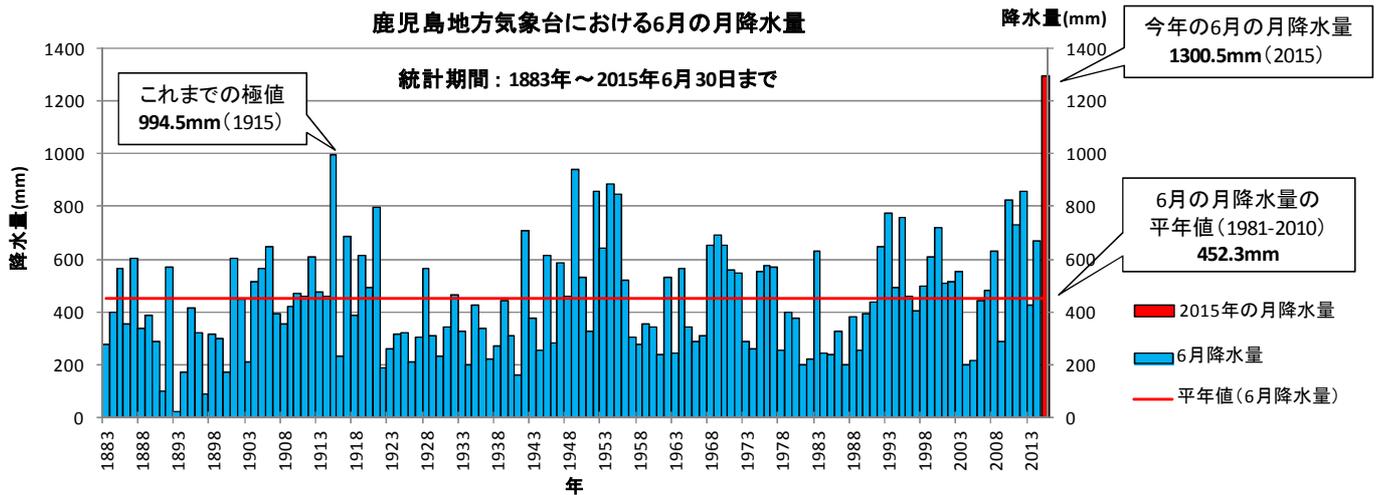


図1 鹿児島地方気象台における6月の積算降水量の経年変化と平年値  
(気象庁観測データをもとに弊社が作成)

注 1) 鹿児島地方気象台の月降水量の統計開始年は1883年である。

なお、今年に入ってからの6月末までの総降水量は『2075mm』と、年間降水量の平年値(1981-2010)『2265.7mm』に近い記録的となっている。

### ■ 6月の降水量の主な統計値 ■

鹿児島地方気象台における6月の降水量の主な統計値<sup>2)</sup>とこれまでの極値<sup>3)</sup>を表1に示す。

月降水量は統計開始からの極値を更新した一方、日降水量や日最大1時間降水量はこれまでの極値の半分以下の値にとどまっている。

表1 鹿児島地方気象台における6月の降水量の主な統計値<sup>2)</sup>とこれまでの極値<sup>3)</sup>

要素	今年6月の値 <sup>注 2)</sup> (起年月日)	これまでの極値 (起年月日)	統計開始年月
日降水量の最大値	160mm (2015/6/25)	324mm (1995/8/11)	1883年1月
日最大10分間降水量の最大値	18.0mm (2015/6/24)	33mm (1998/10/7)	1938年7月
日最大1時間降水量の最大値	42.5mm (2015/6/24)	104.5mm (1995/8/11)	1902年1月
月降水量	1300.5mm	1054.5mm (1993/7)	1883年1月
年降水量	2075mm <sup>注 3)</sup>	4022mm (1993)	1883年

注 2) 2015年7月1日時点の統計値

注 3) 2015年1月1日～6月30日までの総降水量

## ■ 豪雨災害が発生しやすい雨量値(比較的短い期間の雨量)と今年の6月の雨量値の比較 ■

電気協同研究<sup>4)</sup>では、1989年から2007年までの気象庁で報告された一般的な豪雨災害(被害を総合的にみて規模の大きなもの、社会的な関心・影響度が高いもの)のみ84件を抽出し、豪雨災害の発生しやすい気象上条件について調査している。

そのうち、日降水量と時間降水量による豪雨災害発生頻度を図2に示す。日降水量は200mm以上、時間降水量は50mm以上になると豪雨災害発生件数が多くなっていると示されている。

今回、鹿児島地方気象台で記録された6月の日降水量と1時間降水量の最大値(表1)は、上記に示す降雨災害発生件数が多くなる雨量値に比べ、わずかに少ない値にとどまっている。

### ■ 情報元 ■

- 1) 気象庁, 鹿児島地方気象台の降水量の月合計値,  
[http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly\\_s3.php?prec\\_no=88&block\\_no=47827&year=&month=&day=&view=p5](http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly_s3.php?prec_no=88&block_no=47827&year=&month=&day=&view=p5)
- 2) 気象庁, 鹿児島地方気象台 2015年(月ごとの値) 詳細(気圧・降水量),  
[http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly\\_s1.php?prec\\_no=88&block\\_no=47827&year=2015&month=6&day=&view=a1](http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly_s1.php?prec_no=88&block_no=47827&year=2015&month=6&day=&view=a1)
- 3) 気象庁, 鹿児島地方気象台 観測史上1~10位の値(年間と通じての値),  
[http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/rank\\_s.php?prec\\_no=88&block\\_no=47827&year=2015&month=13&day=&view=p5](http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/rank_s.php?prec_no=88&block_no=47827&year=2015&month=13&day=&view=p5)
- 4) 電気協同研究会, 平成21年12月:自然災害に対する架空送電技術, 電気協同研究, 第65巻, 第3号, p35.

### ■ 問い合わせ先 ■

株式会社 工学気象研究所  
〒113-0033 東京都文京区本郷 1-30-17 エムアールビル 6階 Tel 03-5800-0241  
URL <http://www.kougakukishou.co.jp>



HeRIT.jp

気象に関する調査、研究、解析、システム構築  
をお手伝いします。  
お気軽にお問い合わせください。

# 気象の知識を工学的行動に役立てる

## 業務内容

### ● 観測業務……自然を調べる

フィールドにおける気象観測・調査(設計、システム構築、点検保守)など。

### ● 調査解析業務……自然を理解する

気象データ収集・解析、推定マップ作成、シミュレーション、文献調査、データベース作成など。

### ● コンサルティング業務……自然と調和する

自然災害の設備への影響評価・対策検討などのコンサルティング。関連セミナー講師派遣。

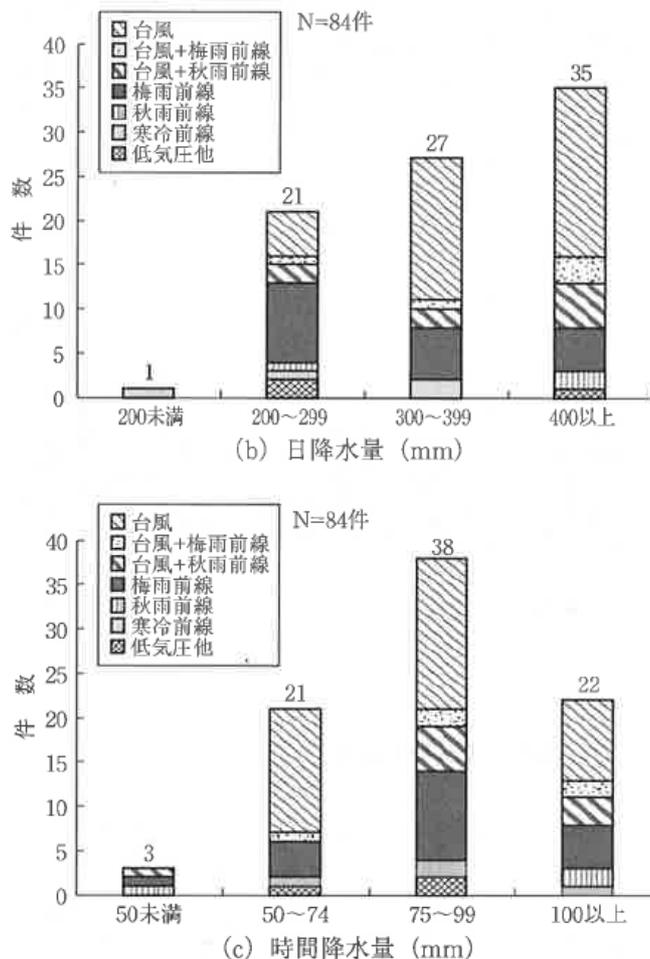


図2 豪雨災害発生時の降水量<sup>4)</sup>